

## 【音楽学部】

### <2026年度 外国人留学生入学者選抜> 試験科目と出題意図

各試験科目について、2026年度入学者選抜の出題意図を公開します。

#### — 試験科目一覧 —

※<sup>1</sup>面接では事前に提出された日本語作文と、それに基づく面接試験により、日本語能力試験「N2」程度の能力があるかどうか審査します。

※<sup>2</sup>書類審査は成績証明書等によって行います。

#### 第1年次入学者選抜

学科	志望コース等	試験科目				
		専攻実技		副科ピアノ	面接※ <sup>1</sup>	書類審査※ <sup>2</sup>
		器楽または声楽	ヴィルトゥオーゾ (器楽または声楽)			
演奏学科	器楽コース	○	—	○ (ピアノ専攻以外)	○	○
	声楽コース	○	—	○	○	○
	ヴィルトゥオーゾコース	○	○	○ (ピアノ専攻以外)	○	○

学科	志望コース等	試験科目							
		課題小論文	口頭試問	専攻課題	英文和訳	実技	面接※ <sup>1</sup>	書類審査※ <sup>2</sup>	
音楽総合学科	フィックス メジャー システム	作曲コース	—	○	○	—	○ (ピアノのみ)	○	○
		音楽学コース	○	○	—	○	○ (器楽・声楽)	○	○
		音楽教育コース	○	○	—	—	○ (器楽・声楽)	○	○
		アートマネジメントコース	○	○	—	—	○ (器楽・声楽)	○	○
	オープンメジャーシステム	○	○	—	—	○ (器楽・声楽)	○	○	

#### 第3年次入学者選抜

学科	志望コース	試験科目			
		専攻実技 (器楽または声楽)	副科ピアノ	面接※ <sup>1</sup>	書類審査※ <sup>2</sup>
演奏学科	器楽コース	○	○ (ピアノ専攻以外)	○	○
	声楽コース	○	○	○	○

学科	志望コース	試験科目						
		課題小論文	口頭試問	専攻課題	英文和訳	実技	面接※ <sup>1</sup>	書類審査※ <sup>2</sup>
音楽総合学科	作曲コース	—	○	○	—	○ (ピアノのみ)	○	○
	音楽学コース	○	○	—	○	○ (器楽・声楽)	○	○

－ 出題意図 －

第1年次入学者選抜

試験科目		出題意図	備考
専攻実技		器楽コース、声楽コースの特性を踏まえた課題曲を審査員の前で演奏することにより、基礎的な演奏能力(技術力、表現力)が身についているかを判定する。ヴィルトゥオーゾコース課題については、器楽コース、声楽コースの専攻実技課題に加え別の課題曲を審査員の前で演奏することにより、完成度の高い演奏を実現できるかについて判定する。	*2027年度よりアートマネジメントコースの『実技(器楽、声楽)』の試験は廃止となります。
副科ピアノ		入学後に副科として学修するピアノについて、指定された課題曲を審査員の前で演奏することにより、基礎的な演奏能力(テクニック、表現力)を判定する。	
課題小論文	音楽学	音楽を主題とする日本語の小論文を課し、文章表現力・論理的思考力を判定する。	
	音楽教育	教育または音楽教育に関する日本語の小論文を課し、内容の的確さと論理的思考力、ならびに文章表現力を判定する。	
	アートマネジメント	アートマネジメントまたは芸術文化全般に関する日本語の小論文を課し、自らの考えを文章で他者に伝える能力を判定する。	
	オープンメジャーシステム	芸術文化全般に関する日本語の小論文を課し、内容の的確さと自らの考えを文章で他者に伝える能力を判定する。	
口頭試問	作曲	専攻課題に関する質問を中心に行い、作品または音源提出を選択した場合は本人が制作したものであるかを確認し、創作過程、曲の構成、和声、楽器(音源の場合は音楽制作ソフト)、記譜法などから総合的な力を判定する。また、創作に対する姿勢についても質問する。	
	音楽学	課題小論文および音楽全般に関する基本的な事柄について日本語で試問し、音楽・芸術文化について思考する力、判定する力、表現する力を測る。	
	音楽教育	課題小論文および音楽教育の基本的な事柄について日本語で試問し、口頭で自分の思考を他者に伝える能力を測る。	
	アートマネジメント	課題小論文および芸術文化全般に関する基本的な事柄について日本語で試問し、基礎的な音楽の知識や学修に取り組む意欲、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力を判定する。	
	オープンメジャーシステム	課題小論文および芸術文化全般に関する基本的な事柄について日本語で試問し、基礎的な音楽の知識や学修に取り組む意欲、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力を判定する。	
専攻課題		和声、作曲、作品提出、音源提出より1つ選択する。曲の構成、和声進行、楽器(音源の場合は音楽制作ソフト)などについての理解力などを判定する(和声課題については非和声音、転調を含む和音設定や連結が適切であるか判定する)。	
英文和訳		外国人留学生が文章の主旨・構造を理解して和訳できているかを判定する。	
実技		入学後に専門以外の実技として学修する実技(器楽、声楽)について、指定された課題曲または任意の曲を審査員の前で演奏することにより、基礎的な演奏能力(テクニック、表現力)を判定する。	
面接		出願時に提出の日本語作文に基づく面接を行い、日本語能力試験「N2」程度の能力があるかどうかを判定する。	
書類審査		成績証明書等からこれまでの学習成果を確認する。	

第3年次入学者選抜

試験科目		出題意図	備考
専攻実技		器楽コース、声楽コースの特性を踏まえた課題曲を審査員の前で演奏することにより、第3年次からの学修に必要な専門的な演奏能力(技術力、表現力)が身についているかを判定する。	
副科ピアノ		本学で副科として学修するピアノについて、指定された課題曲を審査員の前で演奏することにより、基礎的な演奏能力(テクニック、表現力)を判定する。	
課題小論文		音楽を主題とする日本語の小論文を課し、文章表現力・論理的思考力を判定する。	
口頭試問	作曲	専攻課題に関する質問を中心に行い、提出作品が本人の制作したものであるかを確認し、創作意図と作品との整合性などから作曲についての総合的な力を判定する。	
	音楽学	課題小論文および音楽全般に関する基本的な事柄について日本語で試問し、音楽・芸術文化について思考する力、判定する力、表現する力を測る。	
専攻課題		和声および作品提出により、曲の構成、和声進行、楽器（音源の場合は音楽制作ソフト）などについての理解力などを判定する（和声課題については非和声音、転調を含む和音設定や連結が適切であるか判定）。	
英文和訳		外国人留学生が文章の主旨・構造を理解して和訳できているかを判定する。	
実技		本学で専門以外の実技として学修する実技（器楽、声楽）について、指定された課題曲または任意の曲を審査員の前で演奏することにより、基礎的な演奏能力(テクニック、表現力)を判定する。	
面接		出願時に提出の日本語作文に基づく面接を行い、日本語能力試験「N2」程度の能力があるかどうかを判定する。	
書類審査		成績証明書等からこれまでの学習成果を確認する。	